

居住用財産の譲渡損失明細書

氏名 \_\_\_\_\_

前年分の所得金額が赤字の方であって、その赤字のうちに居住用財産の譲渡で一定のものによる損失の金額があり、その損失の金額に係る前年分の純損失の金額について、その損失の生じた年の末日の属する年度の翌々年度以降の年度分の市町村民税及び道府県民税の所得金額の計算上控除を受けようとする方は、下の欄に必要な事項を書き入れてください。

1 特例の適用を受ける居住用財産の譲渡による損失の金額等

資産の所在地番		面積	収入金額 (a)	必要経費 (b)	損失額 (a)-(b)	
土地等		m <sup>2</sup>	円	円	円	
建物		m <sup>2</sup>	円	円	円	
			合計	①	円	
分離課税の対象となる土地、建物等の譲渡所得の金額の合計額 (損失の金額がないときは0と書き入れてください。)					②	円
損益通算の特例の対象となる居住用財産の譲渡損失の金額(①の金額と②の金額のうち、いずれか小さい金額。)					③	円

2 前年分の純損失の金額等

前年分の純損失の金額	④	円
変動所得の損失額及び被災事業用資産の損失額の合計額 (損失の金額がないときは0と書き入れてください。)	⑤	円
(④ - ⑤) の金額 (赤字の時は0と書き入れてください。)	⑥	円

3 翌年度以後に繰り越される居住用財産の譲渡損失の金額

③又は⑥のいずれか少ない方の金額(同額の場合は③の金額を書き入れてください。)	⑦	円
譲渡した土地の面積が500m <sup>2</sup> を超えるときは次の算式で計算した金額(土地等の面積が500m <sup>2</sup> 以下のときは空欄としてください。)	⑧	円

$$\left( \begin{array}{l} \text{⑦の金額} \\ \text{_____円} \end{array} \right) \times \left[ 1 - \left\{ \frac{\left( \begin{array}{l} \text{土地等に} \\ \text{係る特定} \\ \text{損失の金} \\ \text{額} \end{array} \right) \text{_____円}}{\left( \begin{array}{l} \text{土地等} \\ \text{の面積} \end{array} \right) \text{_____m}^2 - 500\text{m}^2} \right\} \right]$$

$$\left( \begin{array}{l} \text{③の金額} \\ \text{_____円} \end{array} \right) \left( \begin{array}{l} \text{土地等} \\ \text{の面積} \\ \text{_____m}^2 \end{array} \right)$$